

# 令和5年度日宇保育所事業報告書

## 1 保育所の運営

(1) 定員 400名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	14	16	17	21	22	27	33	39	44	48	55	56	392
1~2歳児	88	90	92	92	94	92	94	94	93	92	91	90	1102
3歳児	30	30	31	32	32	31	30	30	31	31	31	29	368
4歳児以上	84	85	88	87	88	88	85	85	84	83	83	82	1862
計	216	221	228	232	236	238	242	248	252	254	260	257	2884

(3) 職員数 令和5年度初 49名 令和4年度末 52名

(4) 職員の異動等

### ①採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R5.5.1	常非保育士			保育士資格	
R5.11.1	常非保育士			保育士資格	
R5.11.7	用務員			第二種電気工事士免許	
R6.1.1.	常非保育士			保育士資格	

### ②異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R6.3.31	保育士			保育士資格	配置換減→針尾保育園

### ③退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R5.10.31	用務員				一身上の都合により
R6.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R6.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により

(5) 職員会議の開催状況

毎月2回以上実施した。各クラス子ども達の安全を確保できる体制を整え、行事連絡・相談（保護者対応・気になる子への援助）等必要に応じて意見を交わし合った。また、各クラスの状況を共有するために伝達会議（お昼12時20分より）を毎日行った。内容を掲示し、その日の状況を全職員に周知した。

また、職員個々の自己啓発の推奨及び社会情報への意識づけ、職員と保護者間の認識への共通理解を深めた。会議内容は、全職員に回覧し周知した。月一回の給食内容検討会では、各クラスの嗜好・喫食状況、旬の野菜等を含む献立の検討や食材の栄養価について学んだ。

## 2 保育の実施状況

日常生活を大切にし、子ども一人ひとりの育ちに向き合いながら子ども達自身が自発的に日々活動できるような工夫し、関わりを通して豊かな心を培う保育の実現を目指した。発達面で気になる子については、保護者と密に連絡を取り、必要に応じて関係機関と連携を取りながら園全体で援助・見守りの体制づくりを行った。食育では、園庭の片隅にキュウリやジャガイモを栽培し、成長することに喜びを

もつことができた。また 季節感を感じさせながら興味・関心・創造性などを育てる環境づくりに心がけた。園内の衛生消毒もこれまで通り継続して続けた。空気清浄機・加湿器を設置し、室内の換気も心がけた。その日の温湿度の状況を把握し、熱中症指数が高い時は戸外遊びを控え、室内でも気を付けながらの保育を行った。

職員一人ひとりが、常に保育・衛生管理など最新情報の取得を心がけ、安心かつ状況に応じた活動を行っていくように、何度も問いかけ考える場をもった。

### 3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（年・月指導回数）	委託先名
幼児体育指導		毎週金曜日午前9時30分より 年間22回	いむら体育教室
漢字保育指導		年4回 午前9時30分より	登龍館(漢字保育指導)
英語遊び指導		毎週火曜日 午前10時より 年間30回	英語あそび

### 4 年間行事の実施状況

実施年月日	行 事	実施年月日	行 事
R4. 4.13	お誕生会・心の保育	10.28	運動会（0・1歳児）
4.11～14	保育参観（蒲公英組）	11.6	内科健診
4.22	親子歓迎遠足	11.9	防災訓練（火災）
4.25	防災訓練（火災）	11.13	防災訓練（不審者）
5.11	バスハイク・針尾探検（桜）	11.15	お誕生会・心の保育
5.12	防災訓練（火災）	11.17	鍛錬遠足（桜・百合・堇・薔薇組）
5.17	お誕生会・心の保育	11.24	園内芋ほり（桜組）
5.18	尿検査（堇・百合・桜組）	12.4	やきいも会
5.26	バスハイク・早岐茶市（桜）	12.6	お誕生会・心の保育
6.6～6.9	保育参観（桜組）	12.20	お遊戯会（3・4・5歳児）
6.8	歯科健診	12.25	ランチバイキング（桜組）
6.14	お誕生会・心の保育	12.21	防災訓練（火災）
6.15	防災訓練（火災）	12.25	総合防災訓練（消防署より来園）
6.19	内科健診	R6.1.9	防災訓練（火災）
6.28	相浦プール（桜組）	1.17	お誕生会・心の保育
7.7	七夕誕生会・心の保育	1.31	園内歌留多会
7.4	防災訓練（不審者）	2.1	節分誕生会・心の保育
7.10～14	保育参観（堇組）	2.3	生活発表会（0・1・2歳児）
7.10	防災訓練（火災）	2.16	防災訓練（火災）
7.13	夏まつりごっこ	2.20	交通安全教室（以上児）
7.14	プラネタリウム見学（桜）	2.22	交通公園（桜組）
8.4	防災訓練（火災）	2.28	園内サッカー大会（桜組）
8.21	お誕生会・心の保育	3.1	雛まつり誕生会・心の保育
9.5	命のお話会（百合組）	3.4	バスハイク・針尾散策（桜組）
9.7	防災訓練（火災）	3.5	バスハイク（堇組）
9.13	お誕生会・心の保育	3.6	お別れ遠足（桜・百合・堇・薔薇組）
9.19～22	保育参観（薔薇1組）	3.8	バイキング（桜組）
10.5	運動会（2・3・4・5歳）	3.12	お別れ会
10.12	防災訓練（火災）	3.13	防災訓練（火災）
10.10～21	保育参観（薔薇2・3組）	3.16	卒園式
10.26	尿検査（堇・百合・桜組）	3.27	バスハイク（百合組）

職務分担

令和6年1月1日

職名及び氏名	職務内容	
所長 清水 由美子 (苦情解決責任者)	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成) 4 財務管理	5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関,保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者
副所長	1. 所長の補佐	2 運営管理、保育業務の補佐
主任保育士 (苦情受付担当者)	1 所長の補佐 2. 職員相互の連携 3. 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4. 園内研修の企画及び指導 5. 園行事に関する計画及び指導	6. 保健衛生に関する計画及び指導 7. 給食に関する助言指導 8. 職員会議の計画と実施 9. 小学校との連携 10. 苦情受付
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 園児の健康と安全管理調	4 保育に関する記録(園だより作成等) 5 保護者との連絡及び指導 6 調理員との連携
保育士	*桜組の担任	
保育士	*百合組の担任	
保育士	*堇組の担任	
保育士	*薔薇組の担任	
保育士	*蒲公英組の担任	
保育士	*薔組の担任	
保育士	1 共通遊具の整理、保存	
保育士	1 保育材料に関する事	2 図書管理
保育士	1 園舎内外の掃除点検	2 備付物品に関する事
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関する事	
看護師 (衛生推進者)	1 保健衛生・衛生推進に関する事	3 衛生推進に関する事
保育士	2 健康診断及び歯科健診、尿検査に関する事	4 検便に関する事
保育士	と	5 医薬品の整備・保管
事務員	1 保育所の事務一般に関する事	
保育士	1 延長保育促進事業に関する事	1 一時預かり事業(自主)に関する事
保育士	1 心の保育に関する事	
保育士 (食育担当)	1 食育に関する事	
用務員	1 用務に関する事	2 園児バス運転に関する事
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収	4 炊具、食器の保管
調理員	2 給食人員の把握	5 給食事務
調理員	3 調理・配膳	6 園舎内外の清掃,整頓に関する事
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の健診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

## 6 施設等の整備計画

### (1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年月	内 容	金 額
R5.5.12	固定遊具 パティオランドスヌピー	1,420,000

### (2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年月	内 容	金 額
R5.6.26	イナバ物置FS-3522S	370,865
7.24	コニカミノルタ bizhubc250is カラー複合機	700,000
8.31	ロボットクリーナー i-Robot C755860	248,000
R6.1.17	遊具ハイハイの丘	450,000
1.17	遊具 OTOMORI	390,000

## 7 保育所の自己評価

### (1) 職員の自己評価

年2回実施した。目標に掲げた事柄と実践した保育を振り返り、子どもの視点、保育の内容について自己評価を行い、専門性の質の向上に努め、来年度に向けての目標につなげた。

### (2) 保育所における自己点検・自己評価

以上児、未満児クラス単位で、保育内容等・地域の状況・保護者との関わりの実態に照らし合わせ、見直した。その後、評価して編成を行い施設長に提案、責務のもとそれを踏まえ、保育内容の改善を図り次年度の全体的な計画に反映した。園全体の評価を4段階で表し、現状及び改善点を示すことで、次年度の保育の質の向上に繋げた。

## 8 職員の研修参加状況

職員の希望や保育所での役割などを考慮し、研修に参加した。キャリアアップ研修は、オンデマンド・DVD現地実地型研修での参加となった。法人内研修では、公開保育研修を行いそれぞれの保育園の特性や地域性を感じることができた。また保育の重要性や法人の理念・方針への理解を深め、探求心を高めた。職員一人ひとりが保育の質の向上を図り、実践していく中での問題点を考究して、自己研鑽することができた。また、研修内容の報告や保育関連の新聞社説等から社会情勢をとりあげることで、職員へ意識づけを行い日々の保育につなげることができた。

### (1) 外部研修

年月日	研 修 会 名	参加者名
R5.4.22	佐賀メイト うんとこどっこい運動会	
5.12	佐世保市食品衛生協会 食品衛生責任者養成講習会	
6.1	長崎県保育協会 食育研修会	
6.29	長崎県保育協会 施設長研修会	
8.25	長崎県保育協会 「気になる子への対応と保護者支援のあり方」	
8.30	長崎県保育協会 保育研修会	
9.6	長崎県保育協会 保育士部会	
9.6	佐世保市食品衛生協会 食品衛生責任者講習会	

9.12	長崎県保育協会 主任・主幹研修会	
10.10	佐世保市保健福祉部 調理従事者等研修会	
10.18	長崎県保育協会 保健研修会	
10.28	長崎県保育協会 給食担当者研修会	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「乳児研修」	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「幼児研修」	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「障害児保育研修」	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「食育・アレルギー研修」	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「保健衛生・安全対策」	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「保護者支援・子育て支援」	
12.12～R6.2.16	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「マネジメント」	
R6.1.29.30	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「マネジメント」	
R6.1.31.1.2	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「幼児研修」	
R6.2.2.3	長崎県保育協会 キャリアアップ° 研修「障害児保育」	

(2) 針尾福祉会主催の研修実施状況

①漢字保育内研修 年7回

6/2 7/28 8/31 10/26 12/2 1/11

②法人内公開保育研修 年6回

年 月 日	研 修 会 名	参 加 者 名
R5. 6.27	佐々神田保育園 公開保育	
7.26	針尾保育園 公開保育	
8.29	日宇保育所 公開保育	
9.7	ルンビニ保育園 公開保育	
10.16	楠栖保育所 公開保育	
11.9	佐々神田保育園 公開保育	

9 意見・要望・苦情・不満処理受付状況

- ・子供の持ち物が、紛失したままで、経過状況などの連絡が全くない。同じ事を繰り返された。担任の冷たい態度を改めて欲しい。

上記に対する対応

- ・すぐに紛失した物を探したり、貼り紙をしたりし、これまでの経緯をこまかく聞き取りをし、担任との話し合いをもち助言を行った。職員間での話し合いをもち周知し、同じ事が無いよう注意を促した。

令和5年度

- A：大変良い
- B：良い
- C：一部検討を要する
- D：改善を要する

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 日宇保育所 ）

A、B、C、Dの4段階評価

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた全体的を設定しているか。		○			前年度の子どもの状況を見直し、さらに地域の動向等を考慮して全体的保育を作成した。日々保育を振り返りながら指導経過記録を書くことで反省点が明確化され、改善することができた。クラスのすすめ方の良い点悪い点を見直し、内容を精査することで、良い方向に保育に活かすことが出来た。  一人ひとりの子どもの意欲が引き出されるような言葉掛けや、自信が持てるような働きかけに努めたことが、子ども自身の育ちの向上に繋がった。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの実態に応じた指導計画を作成するように努めた。  保育士が身近にいて、子ども一人ひとりの育ちに向き合い自発的に活動できるよう、職員間での共有する機会を常に持ち子ども対応に努めた。職員の声掛けや室内の環境にも配慮し、安心感と信頼感をもって過ごせる場所となるよう整備することができた。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。			○		
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。			○		
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			園児数が多いが、各クラスで話し合う場をもち保育内容・配置を考え進めた。子どもの状況で柔軟に対応した。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			年間計画を立て進めていた。内容を見直しながらも、子ども達が楽しめる環境を考えた。 一緒になって沢山の体験できた事が、職員の成長に繋がった。  戸外や広いホールで体を動かすことができた。遊びの内容を創意工夫したことで、子どもの成長を実感できた。  行事後の反省会を行い、今後に生かせるようにした。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			年間の流れにそって係や業務を分担できた。緊急を要した時に対応する事柄を明確にしていたことで、状況や相手に応じた行動を速やかにとることができた。保育に必要な職員体制を常に考え流動的に職員を配置した。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
	(3) 職員の配置は適材・適所か		○			
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			会議内容の議題を明確にして会が円滑に進められるようにした。問題があるとその都度会議し、話し合う事ができた。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○			年齢別に毎月目標を立て、各学年毎に創意工夫して活動をした。個人差があり、保育内容を試行錯誤しながら進めた事が、子どもの成長に繋がった。以上児・未満児クラス共に、縦の連携・横の連携を更に図り取り組む必要がある。行事・保育記録は、適切に処理され、保管されている。園全体のチームワークの構築を図っていきたい。
	(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
	(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
	(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。		○			
	(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			年間保健計画を作成しそれに基づいて毎月の保健だよりを配布した。園内で発症している感染症についても、予防対策等をあわせて周知した。引き続き園内外の消毒を行った。保護者から毎日健康カードを提出してもらい、体調のチェックを行った。不調の場合は迅速に対応できた。食物アレルギー児の管理に努め事故防止ができた。健康調査表を配布し、健康状態を把握できた。緊急時医療機関との連携は万全である。防災訓練は、毎月1回実施、災害(地震等)2回 不審者年3回実施 (佐世保警察署防犯課指導員より身を守る事を学ぶ) 危機管理に対するマニュアルを全職員が常に確認できるようにした。
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか		○		研修参加は計画していた通り、参加できた。また オンデマンド研修での多人数参加できた。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○		
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか		○		
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		復命書を提出した。職員会議で、研修報告を行い全職員と共有できた。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか		○		

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				園児の個人情報は、全職員共通理解し慎重に取り扱っている。個人情報の管理は職員にも注意喚起している。公文書（就業規則等）についても職員が観覧可能なようにファイルし事務室に配置している。重要な書類は、施錠できる場所へ保管している。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				防犯カメラを設置し、不審者対策を講じている。佐世保警察署と110番通報装置で連携がとれている。遊具等点検は、毎週月曜に行っている。年1回専門業者によって、点検を行い修理の箇所は整備を行っている。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				各クラス毎の掲示板で、わかりやすくして知らせることができた。
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				管理を含めて、適正に処理されている。
開かれた連携 交流・連携 保 育 所 づ くり	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				姉妹園で年間交流日を計画したが、1回のみとなった。 交流できる内容を検討し、実行していきたい。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○		日宇小学校との交流会を3回行う。就学前の交流会は、子ども達は興味示し学校への期待が膨らんだ。
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。			○		参加型参観を計画して行った。保育所への安心感、理解度高まることのできた。法人内公開保育や保育参観を再開した。来年度はさらに充実させていく。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		地域の伝統行事に参加するなどして地域の方々と触れ合うことができた。



項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開 か れ た 推 進 の 保 育 所 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	必要に応じて子どもの受け渡し時に相談してもらい、実情に沿った話をしている。
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				行政や専門機関と常に連携をとるようにした。
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより・給食だより・保健だよりを毎月1日に発行している。ホームページで、保育所の活動状況を細目に配信し、情報を知らせている。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	要望・質問事項などは、意見箱を設置し、保護者の思いを把握するよう努めた。今後の運営の参考の一つとしている。
	(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				